

出穂は平年並からやや早く、中生品種は**7月末に出穂!!**
今は穂と根を作る時期、**登熟を良好**にするためにも**作溝が機能**しているか**確認**しましょう
また、斑点米**カメムシ**類や**いもち病**の発生が懸念されます

1 7月10日現在の生育状況

梅雨入り後、気温の日較差が小さく日照時間が少なかったことから、作柄診断ほどは、平年と比べて草丈は並～**やや長い**、茎数は**少ない～やや多い**、葉数は並～**多い**、葉色は**やや濃い**、となっています。作柄診断ほどは幼穂が確認でき、「はえぬき」「雪若丸」は平年並～やや早く、7月末には出穂すると予測されます(下表)。

「スマートつや姫」の適期作業カレンダーの予測でも、出穂期は平年並～やや早いです。一方、現在は穂だけでなく根にとっても重要な時期です。土壌を酸化的環境にし、根量と活力をアップさせるため、作溝が機能しているか確認しましょう。

【作柄診断ほの生育 7/10 現在】

品種 移植/直播	場所	年次	移植	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	幼穂長 (生育ステージ)	出穂期 (本年は予測)
はえぬき 移植	鶴岡市 矢馳	本年	5月15日	61.9	621	10.9	44.3	2~3mm (穎花分化中期)	7月31日
		前年	5月16日	57.2	605	10.4	40.7	—	7月29日
		平年	5月16日	61.2	648	10.7	41.0	—	7月31日
		平年比・差	-1	101	96	0.2	3.3	—	0
つや姫 移植	鶴岡市 上清水	本年	5月12日	65.3	468	10.5	40.7	0.5~1mm (2次枝梗分化期)	8月6日
		前年	5月12日	61.8	488	10.3	35.3	—	8月4日
		平年	5月13日	61.5	527	10.5	38.0	—	8月5日
		平年比・差	-1	106	89	0.0	2.7	—	1
雪若丸 移植	鶴岡市 長沼	本年	5月12日	57.8	747	11.2	45.5	2~3mm (穎花分化中期)	7月31日
		前年	5月12日	57.1	678	10.8	40.1	—	8月2日
		平年	5月13日	55.3	704	10.7	41.6	—	8月2日
		平年比・差	-1	105	106	0.5	3.9	—	-2

※平年:2019~2023年の5か年平均

【「スマートつや姫適期作業カレンダー」による生育の予測】

移植時期	予測出穂期 (7/10現在)		
	はえぬき	雪若丸	つや姫
5月5日	7月27日	7月26日	8月5日
5月12日	7月31日	7月29日	8月7日
5月19日	8月4日	8月3日	8月11日

モデルは庄内平坦(鶴岡市藤島)、移植時苗の葉数は2.5葉

【1か月予報(7/13~8/12)】

(7/11 仙台管区気象台発表)

気温 降水量 日照時間	10	10	70
	30	40	30
	30	40	30

: 低い(少ない)
 : 平年並み
 : 高い(多い)

2 当面の技術対策

◎ 梅雨明け後の高温に備え、水をためないで作溝を活用して即排水！

(1) 作溝の機能確認

- ・**中干しの効果**(①根の活力向上による登熟向上、②無効分けつを抑制し、くず米の減少、③地耐力の向上による作業性の向上)を**高めるのが作溝**です。
- ・作溝には、登熟期に少ない水でも素早く**圃場全体に水を行きわたらせる**重要な役目があります。
- ・梅雨の真ただ中、作溝がきちんと機能して圃場内に**水が溜りっぱなしにならず、しっかり排水**できているか今一度確認しましょう。崩れたりふさがっている場合はすぐ手直ししましょう。

◎ 斑点米カメムシ類といもち病の発生が多い

(1) 斑点米カメムシ類

・7月2日に病害虫防除所から「**県下全域で斑点米カメムシ類の発生量が多い**」との農作物有害動植物発生予察情報注意報第2号が発出されました。

確認地点率、平均すくい取り虫数ともに前年、平年を大きく上回っています。

- ① 畦畔、農道、休耕田等で現在雑草が繁茂しているところでは、速やかに除草し、密度低減を図る。
- ② 水田内にイヌホタルイやノビエが多いと水田内での発生が多くなるので除草を徹底する。

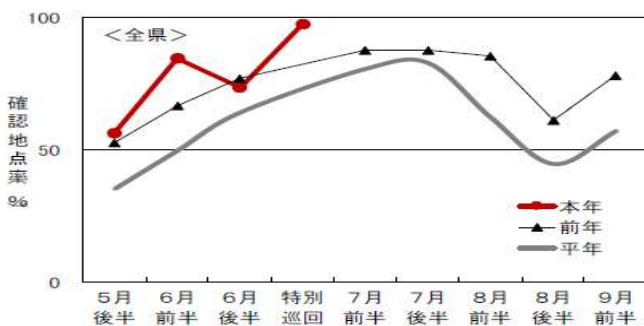


図 斑点米カメムシ類の畦畔・農道等における発生確認地点率

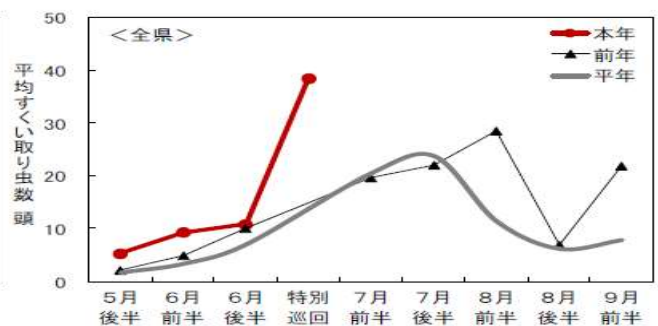


図 斑点米カメムシ類の畦畔・農道等における平均すくい取り虫数

(2) いもち病

いもち病はカビの仲間で空気伝染し、気温が 20～25℃で降雨があると感染拡大します。アメダスデータによる葉いもちの感染好適条件の推定結果(BLASTAM)では、**7月1日に鶴岡、7月7日に狩川**に感染好適条件となっています。特に葉色が濃く葉伸びして、風通しの悪い場所を確認し、見つけたら直ちに対処しましょう。

斑点米カメムシ類、いもち病とも適期適正防除で被害を最小限に!!

「はえぬき」の品質向上に向けて!!

気象庁の1か月予報、3か月予報とも7月8月の気温は平年より高いとの予報です。

「はえぬき」は、高温登熟耐性が「ササニシキ」より強く、「雪若丸」「つや姫」よりやや弱い特性を持っています。根の量が多い、根の活力がある、稲体のケイ酸含量が高いと暑さに強いことが明らかになっています。上記の**作溝確認**と**ケイ酸資材の施用**が収量・品質の向上に効果的です。やるのは今しかありません!!

熱中症予防と農作業事故防止のため、定期的に水分と休憩を取りましょう